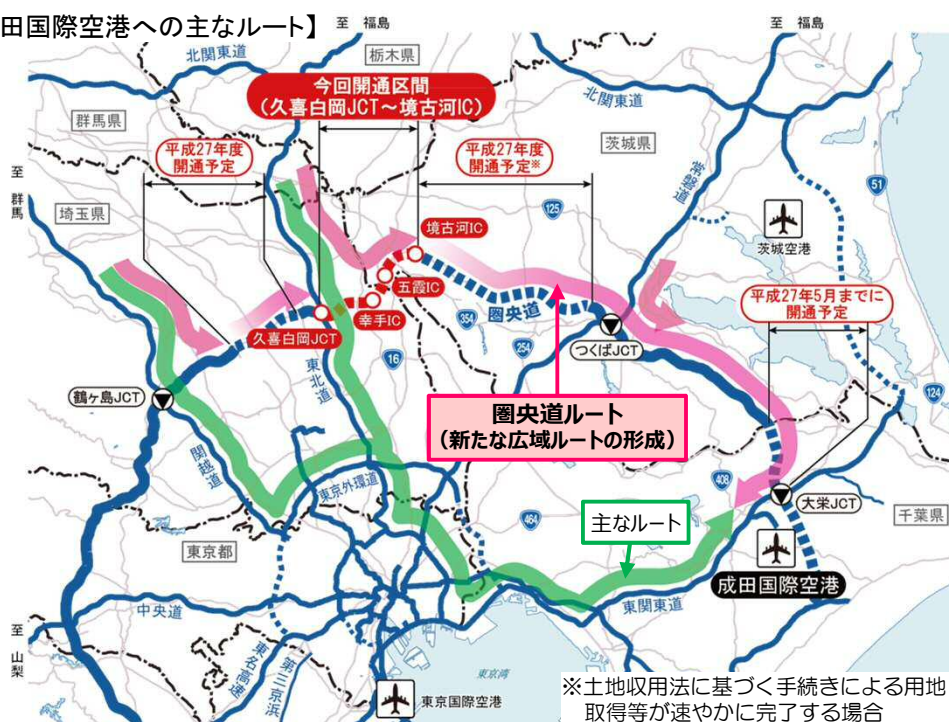


効果② 地域経済の好循環 ～新たな広域ネットワークの形成～

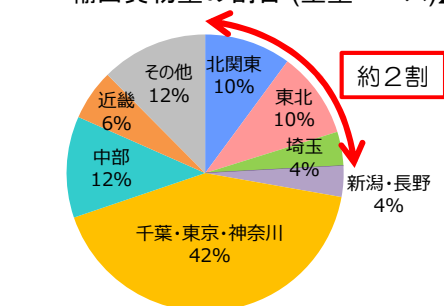
- 成田国際空港における国際航空貨物輸出量の約2割は埼玉や北関東・東北方面から発着しており、その主な輸送ルートは東関東道が担っています。
圏央道の整備により、都心を経由せず、埼玉や北関東・東北方面と成田国際空港を結ぶ新たな広域ルートが形成され、人・物の交流が活発となり、地域経済の好循環が期待されます。
- 圏央道（久喜白岡JCT～境古河IC間）の開通により、茨城県内のICへの30分圏域が拡大し、茨城県西地域における30分圏人口の割合が約6割から約9割に増加します。

圏央道の開通で、新たな広域ネットワークが形成

【成田国際空港への主なルート】



【成田国際空港における発着地別輸出貨物量の割合（重量ベース）】



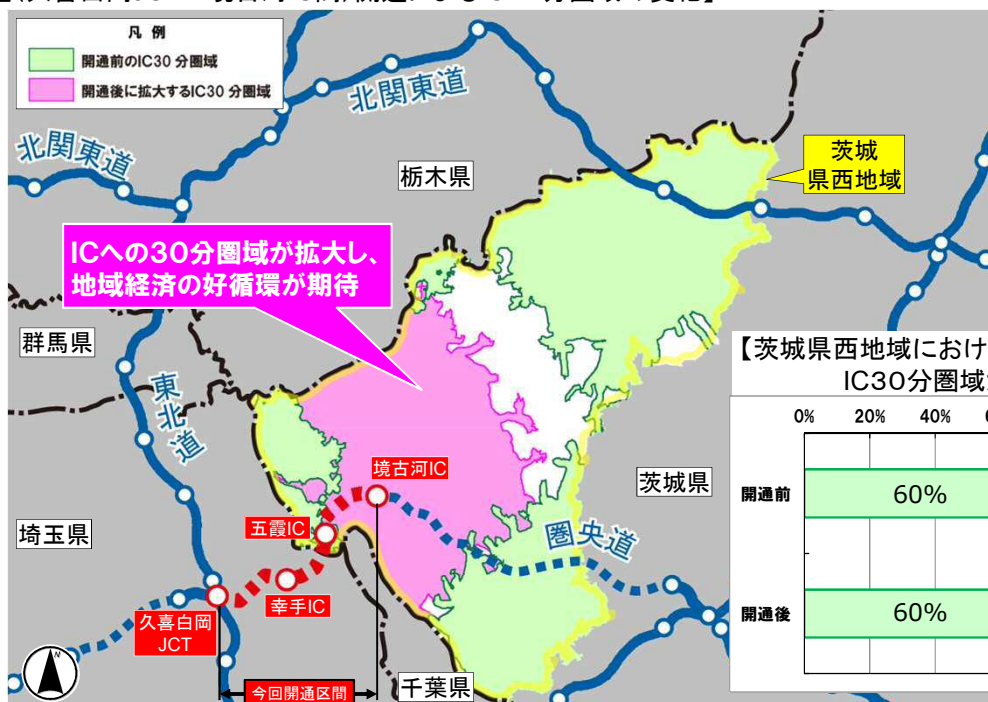
東北には北海道を含む
北関東は、茨城県・栃木県・群馬県
中部は、岐阜県・静岡県・愛知県・三重県
近畿は、滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県
資料）平成25年度 国際航空貨物動態調査報告書

圏央道が高規格幹線道路の空白地帯に延びて、ICへの30分圏域が拡大

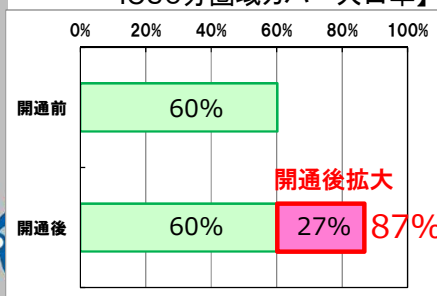
【茨城県西地域における圏央道（久喜白岡JCT～境古河IC間）開通によるIC30分圏域の変化】



茨城県西地域（7市3町）
古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、
坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町



【茨城県西地域におけるIC30分圏域カバー人口率】



出典）所要時間は平成22年度道路交通センサスの12時間平均旅行速度より算出。整備後の圏央道（未供用区間）の速度は、規制速度（70km/h）を用いて算出。カバー人口率は該当するメッシュ単位の人口（平成22年国勢調査500mメッシュ）を集計。